

(解説)初めてでも簡単！BCP策定シートは、山形県内の中小企業、小規模事業者のBCPの取り組みの第一歩を後押し、分かりやすく簡単にBCPを策定いただく意図で作成しました。

1. 基本方針

風水害・雪害発生時には、以下の基本方針に則り対応する。

1	
2	
3	

2. 被害想定

想定する事態	
想定浸水深	

3. 対応責任者

統括責任者	全社的な意思決定を行い、対応全体を統括する。
	(代行者)
本社機能維持担当	従業員の帰宅、安否確認や安全確保等、本社機能の維持に関する実務を指揮する。
	(代行者)
事業継続担当	社内注意喚起、計画的停止準備・実施、水防設備設置等の対応、重要事業の継続に関する実務を指揮する。
	(代行者)

4. 重要業務、目標復旧時間

重要業務	
目標復旧時間	

5. 対応手順 (対策本部を立ち上げ、以下の手順で対応を実施します。)

24時間以上前から来

(1)警戒・注意フェーズ

①行動開始の基準

台風基準	
警戒レベル基準	

②情報収集

1	近隣の状況 (安全な場所から、河川や崖の表面の様子を観察)
2	気象情報 (台風進路・各種気象警報)
3	河川等氾濫情報
4	行政動向 (防災無線情報等)
5	道路・交通機関情報
6	その他ライフライン情報
7	業務状況確認 (来店中のお客様状況・閉店作業進捗等)
8	

① 対応方針の決定

交通状況	
帰宅方針	
営業方針の周知	

② 帰宅指示

帰宅指示 タイミング	
---------------	--

③ 帰宅後の業務方針の基本的な連絡方法

--	--

④ 出社時間帯の場合の出社方針

出社方針	
------	--

⑤ 残留者に関する方針

残留の 基本方針	
-------------	--

① 水防設備の設置場所、土嚢積み上げの場所の確認

水防設備		土嚢を積み場所	
------	--	---------	--

③ 重要経営資源の計画的停止・退避 ※以下の経営資源を、暴風圏内に入る前に保全する。

店舗		書類等	
----	--	-----	--

[illegible]

③事業継続フェーズ

統括責任者

事業継続担当

<メンバー>

①重要業務の継続	
対応戦略	資源の脆弱性 (ボトルネック)
対応手順	

6. 事前準備

[illegible]



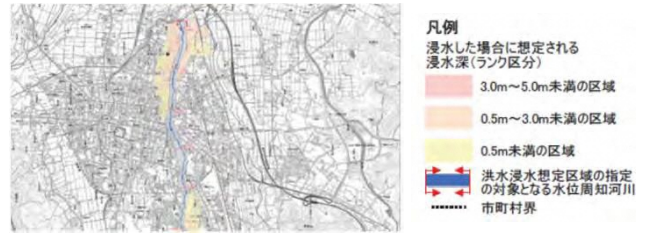
(解説)初めてでも簡単！ B C P 策定シートは、山形県内の中小企業、小規模事業者のBCPの取り組みの第一歩を後押し、分かりやすく簡単にBCPを策定いただく意図で作成しました。

I. 本社・事業所の被害想定

No	種別	拠点名称	拠点住所	避難場所	近隣河川名	計画規模降雨時の浸水深(注1)	想定最大規模降雨時の浸水深(注1)	土砂災害危険区域等(注2)
1	本社	〇〇本社	〇〇県〇〇市〇〇1-2-3〇〇ビル〇階	〇〇小学校	〇〇川	3.0~5.0m	3.0~5.0m	✓
2	営業所	〇〇営業所	〇〇県〇〇市〇〇4-5-6〇〇ビル〇階	〇〇公園	〇〇川	3.0~5.0m	3.0~5.0m	
3	営業所	〇〇営業所	〇〇県〇〇市〇〇7-8-9〇〇ビル〇階	〇〇公園	〇〇川	3.0~5.0m	3.0~5.0m	✓
4	営業所	〇〇営業所	〇〇県〇〇市〇〇7-8-9〇〇ビル〇階	〇〇公園	〇〇川	3.0~5.0m	3.0~5.0m	✓
5	営業所	〇〇営業所	〇〇県〇〇市〇〇7-8-9〇〇ビル〇階	〇〇小学校	〇〇川	0.5~3.0m	0.5~3.0m	✓
6	工場	〇〇工場	〇〇県〇〇市〇〇1-2-3〇〇	〇〇小学校	〇〇川	0.5~3.0m	0.5~3.0m	
7	工場	〇〇工場	〇〇県〇〇市〇〇1-2-3〇〇	〇〇小学校	〇〇川	0.5~3.0m	0.5~3.0m	✓

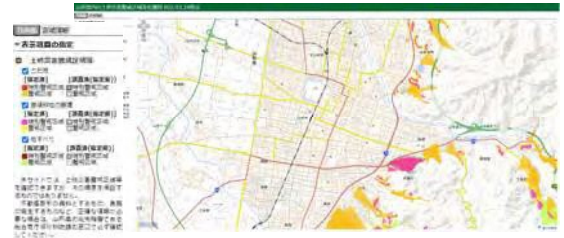
注1：洪水災害リスクを調べる。

- 山形県の洪水浸水想定区域にアクセスする。
<https://www.pref.yamagata.jp/ou/kendoseibi/180006/publicfolder201004278587559221/sinsuisoutei-souteisaidaikibo.html>
- 各拠点の近隣河川の図面を選択し、計画規模降雨時の浸水深、想定最大規模降雨時の浸水深を確認し、上表に記載する。



注2：土砂災害危険区域等を調べる。

- 山形県土砂災害警戒システムにアクセスする。
[https://sabo.pref.yamagata.jp/pc/\(S\(icncd04e5jtzacnevkbptlbt\)\)/MapForm.aspx?m=8](https://sabo.pref.yamagata.jp/pc/(S(icncd04e5jtzacnevkbptlbt))/MapForm.aspx?m=8)
- 地図上で各拠点を表示する。
- 何かしらの区域に該当している場合、上表にチェックを付ける。



II. 参考情報

1. 河川水位や雨の情報（警戒レベル相当情報）について

市区町村が出す警戒レベルで確実に避難しましょう。
気象庁などから出る河川水位や雨の情報を参考に自主的に早めの避難をしましょう。

名 称：警戒レベル 発信者：市区町村等 内 容：避難情報		名 称：警戒レベル相当情報 発信者：気象庁や都道府県等 内 容：河川水位や雨の情報	
警戒レベル	住民がとるべき行動	避難情報等	防災気象情報（警戒レベル相当情報）
			浸水の情報（河川） 土砂災害の情報（雨）
5	命を守る最善の行動	災害発生情報	5 相繼 氾濫発生情報 大雨特別警戒（土砂災害）
4	危険な場所から全員避難	避難勧告（避難指示（緊急））	4 相繼 氾濫危険情報 土砂災害警戒情報
3	危険な場所から高齢者などは避難	避難準備・高齢者等避難開始	3 相繼 氾濫警戒情報 大雨警戒
2	ハザードマップ等で避難方法を確認	大雨注意報 洪水注意報	2 相繼 氾濫注意情報
1	最新情報に注意	早期注意情報	1 相繼

出典：内閣府防災情報のページ：
http://www.bousai.go.jp/oukyu/hinankankoku/h30_hinankankoku_guideline/pdf/keikai_level_chiras_hi.pdf

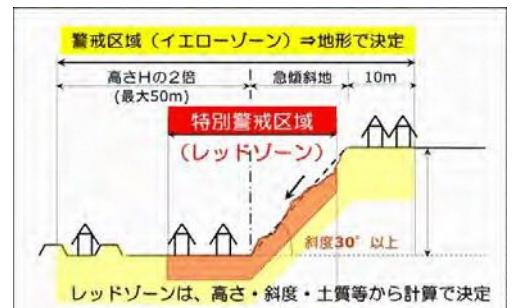
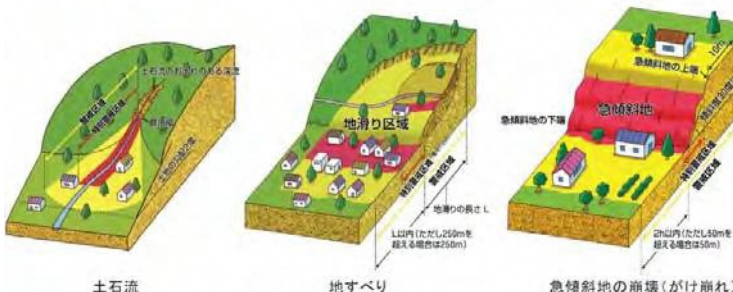
2. 洪水災害リスクについて

- 「地点別浸水シミュレーション検索システム」（浸水ナビ）では、浸水想定区域図を電子地図上に表示することができます。
<http://suiboumap.gsi.go.jp/>
- 浸水ナビで確認できること：
(1) 河川の想定破壊点 (2) 浸水想定の変化
(3) 浸水深、浸水到達時間、浸水継続時間
(4) 河川のリアルタイム水位情報
(5) 3D表示による地形と浸水の関係



3. 土砂災害リスクについて

土砂災害の分類	がけ崩れ	土石流	地すべり
特徴	斜面の地表に近い部分が、雨水の浸透や地震等でゆるみ、突然、崩れ落ちる現象。崩れ落ちるまでの時間がごく短いため、人家の近くでは逃げ遅れも発生し、人命を奪うことが多い。	山腹や川底の石、土砂が長雨や集中豪雨などによって一気に下流へと押し流される現象。時速20~40kmという速度で一瞬のうちに人家や畑などを壊滅させてしまうことも。	斜面の一部あるいは全部が地下水の影響と重力によってゆっくりと斜面下方に移動する現象。土塊の移動量が大きいため甚大な被害が発生。
主な前兆現象	がけにひび割れができる。小石がバラバラと落ちてくる。がけから水が湧き出る湧き水が止まる。濁る。地鳴りがする	山鳴りがする。急に川の水が濁り、流木が混ざり始める。腐った土の匂いがする。降雨が続くのに川の水位が下がる。立木が裂ける音や石がぶつかり合う音が聞こえる	地面がひび割れ、陥没。がけや斜面から水が噴き出す。井戸や沢の水が濁る。地鳴り・山鳴りがする。樹木が傾く。亀裂や段差が発生
土砂災害危険箇所	急傾斜地崩壊危険箇所の被害想定区域	土石流危険区域	地すべり危険区域
土砂災害警戒区域（イエローゾーン）	イ 傾斜度が30度以上で高さが5m以上の区域 ロ 急傾斜地の下端から水平距離が10m以内の区域 ハ 急傾斜地の下端から急傾斜地の高さの2倍（50m）を超える場合は50m以内の区域	土石流の発生のおそれのある渓流において、扇頂部から下流で勾配が2度以上の区域	イ 地すべり区域 ロ 地すべり区域下端から、地すべり地塊の長さに対応する距離（250m）を超える場合は250m
土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）	土砂災害が発生した場合に、建築物の損壊が生じ住民等の生命または身体に著しい危害が生ずるおそれがあると認められる区域（土石等の移動等により建築物に作用する力の大きさが、通常の建築物が土石等の移動に対して住民の生命または身体に著しい危害を生ずるおそれのある損壊を生ずることなく耐えることのできる力の大きさを上回る区域）		



出典：政府広報オンライン：
<https://www.gov-online.go.jp/useful/article/201106/2.html>
東京都建設局：
https://www.kensetsu.metro.tokyo.lg.jp/jiogyo/river/dosha_saiqai/map/kasenbu0087.html

警戒区域・特別警戒区域の指定範囲（急傾斜地の崩壊の場合）